

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名	「ねんりんピックよさこい高知2013」開催準備の推進				
所管部局	健康福祉部	部局長名	舩田 郁男	予算事業名	ねんりんピック実行委員会負担金
所管部署	ねんりんピック推進課	所属長名	高橋 鉄昭	予算事業科目(平成25年度)	010301040790

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画・実施計画 施策体系での位置付け					
施策の大綱	02	安心の環	施策	取組	方針
政策	10	いきいき安心の高齢社会づくり			
施策	26	いきいき高齢者のまちづくり			
2 事業の根拠・性格					
法律・政令・省令	全国健康福祉祭開催要綱(昭和62年10月17日厚生省発政第22号)				
県条例・規則・要綱等	第26回全国健康福祉祭うち大会ねんりんピックよさこい高知2013実施要綱				
市条例・規則・要綱等					
その他(計画, 覚書等)					

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	○全国から参加する60歳以上の高齢者 ○大会に関係するボランティア等市民			
意図	どのような状態にしていくのか	ねんりんピックとはふれあいと元気のある長寿社会をつくっていくことを目的とした、健康・福祉・生きがいつくりの祭典である。高齢者だけではなくあらゆる世代に大会開催について周知し、大会に関わっていくことで、スポーツ、文化活動、社会貢献などこれからの毎日をより豊かにくらししていくきっかけを見つめられるように導いていく。			
手段	事業実施体制等	ねんりんピックよさこい高知2013高知市実行委員会 (事務局：高知市ねんりんピック推進課)	事業開始年度	平成23年度	
			事業終了年度	平成25年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	○高知市実行委員会(総会・常任委員会)の円滑な運営(対象：実行委員会：市長はじめ129人) ○関係団体との連絡調整(対象：交流大会種目団体)→交流大会リハーサル大会の実施 ○実施本部との連絡調整(対象：職員)→宮城・仙台大会の視察 ○広報活動の充実(対象：市民)→市主管各課へのイベント参加、印刷物への導入、広報物品の配布、独自イベントの実施			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	実行委員会経費における県補助金の補助率	県実行委員会が補助金交付要綱に基づき、補助対象となる経費を見極め、県補助金を効果的に活用する(大会主催者：厚生労働省、高知県及び長寿社会開発センター、県実行委員会、市実行委員会)		
	B				
	C				

4 事業の実績等

		22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	実行委員会経費における県補助金の補助率	目標	-	50.0%	平成24年度実行委員会決算 ①支出金額=13,441千円 ②県補助金=6,008千円 ②/①=44.7(%)	
			実績	-	44.7%		
	B		目標				
			実績				
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)		2,044	15,145	89,575	
		財源内訳	国費(千円)				
			県費(千円)				
			市債(千円)				
			その他(千円)				
			一般財源(千円)	0	2,044	15,145	89,575
	翌年度への繰越額(千円)						
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	0	7,992	102,931	168,619	<H23>職1人(12月) 臨0.5人
		正規職員(千円)	0	7,200	96,200	162,060	<H24>職13人(うち併3人) 臨3.25人
		その他(千円)		792	6,731	6,559	<H25>職14人(うち併3人) +19人(併5月) 臨4人
		人役数(人)		1.50	16.25	25.90	
		正規職員(人)		1.00	13.00	21.90	
		その他(人)		0.50	3.25	4.00	
総コスト=①+②(千円)	0	10,036	118,076	258,194			
市民1人当たりコスト(円)	0	30	349		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数(人)	339,130	337,875	338,397				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

--

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	4.0	本事業は、ねんりんピックよさこい高知2013高知市基本計画の開催方針に基づき、実施しているものである。 大会参加者と市民の健康づくり、生きがいつくりの推進や心のこもったおもてなしの大会とするため、着実に準備体制を整え、大会の成功を目指す。
		B (3) 一部結びつく			
	C (1) あまり結びつかない				
	D (0) 結びつかない				
② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	B			
	B (3) 横ばいである				
	C (1) 少ない、減少している				
	D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	4.0	実行委員会経費における県補助金を効果的に活用するため、種目団体、県及び関係団体と連携をとり、必要不可欠なものだけを推考し、経費節減に努める。 当初、県補助金の負担率を支出金額の40%と推しはかっていたが、目標を50%に設定し、競争性を持った物品購入、創意工夫を凝らした企画、既存の行事の活用等、月別事業計画を常時チェック・修正しながら、進行管理している。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A		
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	5.0	市の実行委員会形式で事業実施。 ・民間活力は利用できない ・類似事業との統合・連携等の可能性なし
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	A		
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	B	3.0	誰もが年齢を重ねていくので、広域には市民全てが受益者である。 受益者負担の視点にはなじまない。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	B		
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合点 16.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
		B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
		C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)			
		D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)			

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	1次評価のとおり
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--